

令和2年度国保事業費納付金等の算定結果【概要】

1 算定結果の概要等

- 国から昨年12月23日に示された係数と市町から提出されたデータをもとに、令和2年度国民健康保険事業費納付金等を算定した。
- 令和2年度における一般被保険者数（年度平均）を195,646人と推計。平成31年度推計値（203,105人）から7,459人減少する見込み。
- 上記のうち、70歳以上の被保険者数（年度平均）を60,418人と推計。平成31年度推計値（57,596人）から2,822人増加する見込み。

○被保険者数の推計結果

	令和2年度	平成31年度	増減
一般被保険者数	195,646人	203,105人	▲7,459人
うち70歳未満	135,228人	145,509人	▲10,281人
うち70歳以上	60,418人	57,596人	+2,822人

(1) 医療分

- 令和2年度における1人当たり診療費を477,118円と推計。平成31年度推計（456,679円）と比べ、20,439円増加する見込み。
- 令和2年度における診療費総額を約933億4,620万円と推計。平成31年度推計（約927億5,382万円）と比べ、約5億9,238万円増加する見込み。

○診療費の推計結果

	令和2年度	平成31年度	増減
一般被保険者	933億4,620万円	927億5,382万円	+5億9,238万円
うち70歳未満	546億6,386万円	564億7,772万円	▲18億1,386万円
うち70歳以上	386億8,234万円	362億7,609万円	+24億625万円

令和2年度国保事業費納付金等の算定結果【概要】

1 算定結果の概要等(続き)

- 70歳以上の被保険者に係る診療費を、約386億8,234万円と推計。平成31年度推計（約362億7,609万円）と比べ、約24億625万円増加する見込み。
 - ・ 70歳以上の被保険者に係る1人当たり診療費は、640,245円であり、平成31年度推計値（629,837円）と比べ、10,408円増加
 - ・ 70歳以上の被保険者数が平成31年度推計（57,596人）から2,822人増加
- 年齢調整後の医療費指数（全国平均＝1）は、最大が坂出市の約1.21、最小が多度津町の約1.08であり、県平均は約1.14。
- 1人当たり平均所得（医療分）は、最大が直島町の691,340円、最小が小豆島町の402,510円。県平均は502,706円。
- (2) 後期高齢者支援金分
 - 国が示した1人当たり負担見込額は、63,078円で、平成31年度（61,742円）より1,336円増加。
- (3) 介護納付金分
 - 国が示した1人当たり負担見込額は、75,720円で、平成31年度（71,871円）より3,849円増加。
 - 令和2年度における介護保険第2号被保険者数（年度平均）は、57,041人と推計。平成31年度推計値（58,239人）から1,198人減少する見込み。
- **各市町の納付金額・標準保険料率**
別添のとおり

2 県が示す算定結果と市町における保険料率

- 市町は、県が示した納付金額、保険料必要額等を参考に、収納率見込み、基金からの繰入等を考慮して、保険料の算定方式（3方式、4方式）、保険料率等を定める。
- ※ 県が示す標準保険料率は、同じ尺度で市町ごとの保険料率を見るためのものであり、市町ごとの事情（基金からの繰入等）を考慮していないため、市町が定める保険料率とは必ずしも一致しない。